

事業報告

(2024年4月1日から2025年3月31日)

1 株式会社の現況に関する事項

当社は北陸新幹線金沢・敦賀間開業に合わせて、北陸本線の運行を担う第三セクターとして2019年8月に設立し開業準備を進めてまいりましたが、関係各位のご協力のもと、2024年3月16日に無事開業を迎え、鉄道事業を開始しました。

開業1周年を迎えた当期は、さまざまな利用促進事業を実施するとともに、安全で安定的な運行の確保を最大の使命とし、安全・安定運行に努めました。

(1) 体制整備

組織体制については、2023年11月に駅、指令所、運転管理センター、車両管理センター、施設管理センター、電気管理センターなど開業後の鉄道運行実施体制に合わせた組織変更を行いました。

人員体制については、JR西日本からの出向者169名、プロパー社員90名、県退職派遣者10名と合わせ269名の体制で開業しましたが、引き続き体制強化に取り組み、2025年3月末現在、289名の体制としました。

(2) 施設整備

開業後も引き続き、鉄道事業の運営に必要な施設・設備等の調達を行いました。また、利用者の利便性向上のため、丸岡駅・森田駅のパーク&ライド用駐車場の整備を行いました。

(3) 運賃・ダイヤ等

運賃については開業後5年目までは現在の水準を維持していきます。

ダイヤについては2025年3月に改正を行い、敦賀駅～福井駅間の列車本数を増やす等、更なる利便性の向上を図っています。

(4) 当期の鉄道事業

利用者数については、総数が7,618,341人で、1日あたりの利用者数は21,060人と、経営計画で定めた1日あたりの利用者数20,167人を4.4%上回りました。

券種別では定期外が開業後の好調な利用状況を維持しており、1日あたりの利用者数は目標値を34.1%上回りましたが、通勤定期・通学定期がともに1日あたり利用者数の目標値を下回りました。

運輸収入については、総収入が20億79万円となり、定期外の好調な利用状況により、第6期予算の見込みを約2億5,000万円上回りました。

2 対処すべき課題

(1) 鉄道事業

①多客対応

多客期間や多数の参加者が見込まれるイベントの開催時等、通常ダイヤでは一時的に輸送力が不足する可能性が生じる場合には、臨時列車の運行等により一時的に輸送力を強化して対応しました。

特に多くの混雑が見込まれる場合は安全確保のために当該駅に係員を増員し、沿線市町と協力し対応しました。

②列車混雑への対応

平日夕方の2両編成列車の一部で恒常的に混雑が発生し乗車できないケースが生じたため、当該列車を4両編成に臨時増結して混雑を緩和しました。

さらに、2025年3月のダイヤ改正で、夕方の時間帯の車両編成を見直し、混雑が生じていた列車を4両編成に変更しました。

(2) 利用者にわかりやすい利用案内

当社とI R いしかわ鉄道、J R 西日本との連絡運輸の範囲やI C O C Aの利用範囲、敦賀駅での乗り換え方法、当社とJ R 北陸新幹線・特急との乗り換え時間について、ホームページや駅掲示等により、利用者にわかりやすい案内に努めました。

(3) 利用促進策

多客期間や多数の参加者が見込まれるイベントの開催時等、ニーズに応じた臨時便の運行や増結等により利用者を確保するとともに、以下の事業を実施し、新幹線開業により増加が期待される来県者等の取り込みを図りました。

【企画切符の販売】

- ・土日祝日、GW、お盆、年末年始限定で、当社区間が1日乗り放題となるフリー切符の販売
- ・福井鉄道およびえちぜん鉄道と連携し、3社区間が1日乗り放題となるフリー切符の販売
- ・I R いしかわ鉄道、あいの風とやま鉄道と連携し、3社区間が2日間乗り放題となるデジタルチケットの販売

【観光・イベント列車の運行】

- ・あいの風とやま鉄道保有の観光列車「一万三千尺物語」のハピラインふくい線での運行（I R いしかわ鉄道、あいの風とやま鉄道と連携）

- ・営業列車を活用したサイクルトレインの運行
（ＩＲいしかわ鉄道と連携）
- ・着脱式テーブルを取り付けた営業列車を活用した、カクテル列車の運行

【イベントの開催】

- ・ＪＲ西日本や地域鉄道と連携し鉄道フェスタや１周年記念イベント等の開催
- ・市町等が行う駅や駅周辺でのイベント開催時における駅舎等の使用やブース出店等の協力

【スタンプラリー】

- ・当社、福井鉄道、えちぜん鉄道、ＪＲ越美北線、ＪＲ小浜線を対象とするデジタルスタンプラリーの実施

【ハピラインファンクラブ会員限定イベント】

- ・車両基地見学体験ツアーや特別列車乗車体験企画の実施

（４）人員体制

開業時のＪＲ西日本からの出向者１６９名を１０年で解消するために引き続き社員採用を行うとともに、運転士養成（年間８名程度）を実施します。

計算書類

貸借対照表

(2 0 2 5 年 3 月 3 1 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3, 590, 481	流動負債	2, 159, 855
現金および預金	1, 265, 402	未払金	1, 214, 686
未収運賃	236, 651	未払費用	571, 098
未収金	1, 775, 119	預り金	113, 118
未収消費税等	58, 031	未払法人税等	84, 584
貯蔵品	209, 495	預り連絡運賃	11, 929
前払費用	20, 891	前受運賃	118, 359
その他	24, 889	賞与引当金	44, 756
		その他	1, 322
固定資産	979, 892		
鉄道事業固定資産	87, 689		
建設仮勘定	888, 472	固定負債	873, 625
投資その他の資産	3, 730	退職給付引当金	33, 295
投資有価証券	100	補助金等受入金	682, 987
その他	3, 630	車両修繕引当金	156, 938
		その他	404
繰延資産	885, 484	負債合計	3, 033, 481
開業費	885, 484	(純資産の部)	
		株主資本	2, 422, 377
		資本金	2, 623, 000
		利益剰余金	△200, 622
		その他利益剰余金	△200, 622
		繰越利益剰余金	△200, 622
		純資産合計	2, 422, 377
資産合計	5, 455, 858	負債・純資産合計	5, 455, 858

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
営業収益		4,392,227
営業費		4,387,748
営業利益		4,478
営業外収益		
受託工事収入	96,376	
雑収入	8,797	105,173
営業外費用		
創立費償却	239	
開業費償却	226,081	
受託工事支出	87,085	
支払利息	439	
雑損失	197	314,042
経常損失		204,390
特別利益		
補助金	9,863,662	
工事負担金等受入額	4,454	9,868,116
特別損失		
固定資産圧縮損	9,609,540	9,609,540
税引前当期純利益		54,185
法人税、住民税および事業税		66,842
当期純損失		12,656

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書
(自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	株主資本			株 主 資 本 合 計	純資産 合 計
	資本金	利益剰余金			
		その他利益 剰 余 金	利 益 剰余金 合 計		
		繰越利益 剰 余 金			
2 0 2 4 年 4 月 1 日 残 高	2, 623, 000	△187, 966	△187, 966	2, 435, 033	2, 435, 033
事業年度中の変動額					
新株の発行					
当期純損失（△）		△12, 656	△12, 656	△12, 656	△12, 656
事業年度中の変動額合計		△12, 656	△12, 656	△12, 656	△12, 656
2 0 2 5 年 3 月 3 1 日 残 高	2, 623, 000	△200, 622	△200, 622	2, 422, 377	2, 422, 377

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。